

地球にやさしい
世の中をつくるために、
みんなが工夫を
しているんだね!



▲マツダの自動車生産工場(宇品工場・広島県広島市)

未来の地球のために!



進め!くるまの「リサイクル」

循環型社会に向けた取り組みとそれぞれの役割

まとめ編

車は一台一台、そのほとんどがリサイクルされているよ。それはみんなの努力で実現しているんだね! 地球の環境を守るためには、自動車に関わるみんなで力を合わせる事が重要なんだ!



生産編

●おたずねした会社
マツダ(広島県安芸郡府中町)

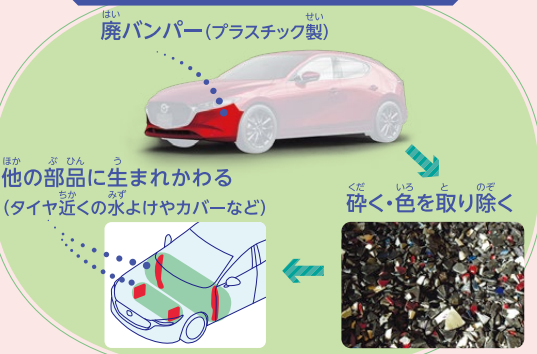
リサイクルしやすく

リサイクルは設計・開発から

自動車メーカーでは、車を設計・開発する段階から、使用済み(廃車)になったあとのリサイクルを考え取組んでいます。たとえば、部品はリサイクルしやすい素材を選んだり、解体時に工具

●バンパーから部品にリサイクル●

や機械を使って取りはずしやすにしたりしています。車の生産工場でも、できるだけゴミが出ない工夫をしたり、きちんと分別して再資源化したり、水も使う前と同じくらいきれいにするなど、環境にやさしい取り組みをしています。

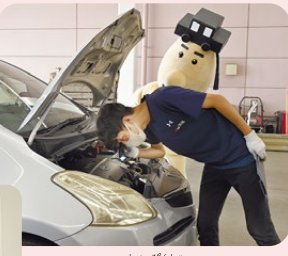


▲バンパーから別の部品へのリサイクル例

オークション編

●おたずねしたところ
JU新潟(新潟県中古自動車販売商工組合)(新潟県新潟市)

リユースに大きな役割



▲出品車をきびしくチェックする検査員

▲オークションではA、Bの画面で順々に車が売られていきます。画面では出品車の写真や評価が見られます(画像はイメージです)

長く車を乗りつぐ仕組み

車を売りたい人と買いたい人をつなぎ、車がリユース(再利用)されるのをあと押ししているのがオークションです。売りたい人から出品された車は、車両の状態などがきびしくチェックされ、オークションでは買いたい人の中でいちばん高くつけられた金額と、売りたい人の希望金額がマッチすれば売買が成立します。リサイクル料金分も新しい所有者が負担し、しっかり引きつがれます。



▲リサイクル部品を取り付ける整備士

整備編

●おたずねした会社
北日本自動車共販(北海道札幌市)

長く乗るための車のお医者さん!

車の健康をサポート!

白ごころから車をきちんと点検・整備することで、故障や事故を防ぎ、ユーザーが長く安全に乗れるようサポートしてくれているのが自動車整備工場です。また、整備士の人たちは、ユーザーの希望を聞いてリサイクル部品を使うことにより、新品の部品よりも安く整備・修理ができ、同時に資源の有効活用とゴミを減らすことにもつなげています。



▲リサイクル部品について博士に説明

販売編

●おたずねした会社
ホンダライフ(ホンダカーズ埼玉県央)(埼玉県日高市)

リサイクルをつなぐ窓口

リサイクルは車を買うときから!

車を買ったり、使用済みの車を引き取ってもらう自動車販売店は、ユーザー(車に乗る人)とリサイクルをつなぐ窓口です。使用済みの車は、「エアバッグ」「フロンガス」「シュレッダーダスト」を正しい方法で処理する必要があります。実は、そのためのお金は、ユーザーが車を買うときに「リサイクル料金」として前もって支払い、リサイクルの仕組みを支えているのです。



車のリサイクルではこの3物品の処理が重要!

▼販売店の方がリサイクル券を見せながら博士に説明

破砕編

●おたずねした会社
ヒラクイン(岡山県倉敷市)

生まれかわる資源!



1日に150トンも回収される鉄の山。再生された金属資源は、再び金属製品の原料になります。

使用済みの車は資源の宝庫!

解体工場から破砕工場に運ばれた車体は、今度はシュレッダーという巨大な機械でどんどん砕かれ粉々にされます。そして、機械や経験豊かな人の手によって、鉄、銅、アルミニウム、プラスチックなどの素材ごとに分別・回収され、再び資源にもどされるのです。そのあとに残ったクズ「シュレッダーダスト」もさらに分別・回収されて、そのほとんどがリサイクルされます。



▲鉄やアルミニウム、銅などの貴重な資源を素材ごとに回収

力を合わせて循環型社会を実現

自動車リサイクル博士と一緒に車のリサイクル現場をたずねるシリーズも、今回が最後の「まとめ編」です。これまで、使用済みになった車(廃車)がどのようにリサイクルされるか紹介する「第1部 使用済みになった車のゆくえ」と、車に関わる人々がそれぞれの役割の中でどのように環境への取り組みをしているか紹介する「第2部 みんなで支える車のリサイクル」であわせて六つの現場をたずねる「車のリサイクル」を学んできました。1台の車がつくれ、大切に乗りつがれてやがて廃車となりリサイクルされるまでには、ユーザーをはじめ、さまざまな人たちがそれぞれの役割をしっかりと果たし、力を

合わせてリサイクルを支えてくれました。そして、処理に専門の技術が必要な「エアバッグ」「フロンガス」「シュレッダーダスト」も、車を買うときにユーザーが支払う「リサイクル料金」によってきちんと処理されていました。こうしたみんなで力を合わせたリサイクルの仕組みは、世界から「ジャパンモデル」として注目されています。それでは、自動車リサイクル博士とたずねた車のリサイクル現場をふりかえりながら、よりよい環境や限りある資源を守るための取り組みをもつ一度見てみましょう。



車のほとんどをリサイクル!

第1部 使用済みになった車のゆくえ

1 解体編 2 破砕編

第2部 みんなで支える車のリサイクル

3 販売編 4 整備編 5 オークション編 6 生産編